

地域×元氣!

地域おこし協力隊

コラボレーション企画

生チーズテリーヌ × 岡山ワインバレー HAKUBI

食で地域を盛り上げるため、日々、新見産の食材を使用したメニューを考案している船本将寛隊員。

このたび、新見産ワインを使った特産品「生チーズテリーヌ × 岡山ワインバレー HAKUBI」を開発しました。商品について、船本隊員に聞きました。

Q. 商品について教えてください。

A. こだわりぬいたチーズなどの原材料とワインの香りや味わいをマリアージュさせた濃厚でなめらかなチーズテリーヌです。

Q. 開発で苦労した点は？

A. ワインの個性を生かしつつ、お酒が苦手な人でもおいしく食べられるように試行錯誤しました。

Q. 市民の皆さんへPRをお願いします。

A. このコラボレーション企画は、市内で生産されている魅力的な地産品や特産品を新たなアプ



新見産ワインが香る濃厚でなめらかな生チーズテリーヌ

※商品にはお酒が含まれています。

ローチで市内外に広めていこうという試みです。市内外のご友人への手土産、プレゼントなどでもご活用いただけるとうれしいです。

4月10日(月)から購入予約の受付を開始し、4月28日(金)から販売開始の予定です。購入予約は、トラットリア アルカ (☎080-3058-1992) までお願いします。

まずは店頭で販売し、その後、県内や関西のマルシェ、道の駅、百貨店などでも販売を予定しています。

トラットリア アルカ
インスタグラム



【問い合わせ先】 移住・定住推進課 ☎06114

地域×元氣!

地域おこし協力隊

新たな隊員が着任!

令和5年4月1日付けで、新たな地域おこし協力隊が着任したので紹介します。

みき こうへい
造酒 耕平さん (39歳)

Q. どんな活動に取り組めますか。

A. 新見市にまつわる民謡をアーカイブ化し、保存・継承する活動に取り組めます。

Q. 応募のきっかけは何ですか。

A. 以前、移住者の人と話す機会があり、新見には民謡のアーカイブがないという話を聞き、自分が民謡を残す活動をしようと思ったので応募しました。

Q. 意気込みをお願いします。

A. 新見には祝言節など継承されていない民謡がたくさんあります。その民謡を地元の人たちに歌い継いでもらい、継承していきたいです。こんな民謡を知っているよ、という人がいれば、ぜひ教えてほしいです。



みうら よしこ
三浦 美子さん (38歳)

Q. どんな活動に取り組めますか。

A. 地域の魅力や観光資源を掘り起こし、地域に根差した観光振興に取り組めます。

Q. 応募のきっかけは何ですか。

A. これまでの経験を生かし、新天地の地域も盛り上げたいと思ったからです。いろんな地域を見学した中で、実際に新見市を訪れ、住みたいと思ったので応募しました。

Q. 意気込みをお願いします。

A. やりたいことはたくさんありますが、地域の人と一緒に取り組み、地域に還元できる活動を探しています。まずは新見市全体を見て回り、地域のことを知りたいと思っていますので、よろしくお願いします。



新見地域おこし協力隊
フェイスブック



【問い合わせ先】 移住・定住推進課 ☎6114

地域×元氣!

地域おこし協力隊

退任のごあいさつ

櫻井 耀 隊員

2020年6月、地域おこし協力隊としての活動をスタートさせ、2023年5月をもって任期の3年間の活動が終了しました。

私が新見で活動することが決まったのが2019年のこと。予期せぬコロナ禍での活動で「コミュニティ」を題材にするには逆風でした。

にもかかわらず、「政治や宗教、恋愛といったどんなテーマでも話し合える空間を創りたい」「地域で立ち話をしている光景を増やしたい」「権威主義的圧力を取っ払い、寛容な人間関係を構築したい」といった信念のもと活動し、気付けば多くの方からのご支援をいただき、他にはない温かな空間が生まれていました。

地方での活動といえども、ライバルはNetflixやオンラインゲーム、



「その道の人、その視点から語る」の最終回の様子



大好きな岩山駅にて

そしてショッピングモールが代表。市民の余暇の時間、いかにフリートークや特別企画に参加していただくか、試行錯誤の連続でした。

人とのつながり、新しいことを学ぶ喜びを提供することで、週末にも市民が地域に残り、地域内で内発的動機から社会活動の芽が育っていったと感じております。

これからも∞ターン（造語ですが自分を必要とする場所で活動）をしながら、愛する祖国の発展を縁の下で支えていきたいです。その基盤となる小さな成功を新見の地で成し遂げることができたこと、関わってくださった皆さまに心から感謝いたします。

【問い合わせ先】 移住・定住推進課 @6114

地域×元氣!

地域おこし協力隊

着任から1年がたちました!

新見産木材の良さを木工分野でPRするために、
石井英希いしひろき隊員が地域おこし協力隊「林業男子」に
着任して1年がたちました。

昨年11月号の市報にいみでも紹介した、石井
隊員が製作している新見産ヒノキを使ったバイオ
リンは、7割程度まで製作が進んでおり、完成後
には市内で演奏会を開き、地域の皆さんと交流を
図りながら、新見産木材のPRをする予定です。



完成が近づくバイオリン

この他にも、まなび広
場にいみの屋外に設置す
るベンチの製作や、新
見市が取り組んでいる
「ウッドスタート事業」
の中で、1歳半を迎えた
幼児に贈呈する「新見ピ
オーネつみき」の製作に
協力しています。



また、新見産木材を使用した椅子やティッシュ
ケース作りのワークショップを開催しており、今
後も定期的にモノづくりのワークショップを開催
予定ですので、ぜひ、ご参加ください。

「新見市は温かい人が多い。多くの人と関わり
ながら活動を行いたい」と語る石井隊員。今後の
活動にご注目ください。



石井隊員のInstagram

【問い合わせ先】 林業振興課 ☎@6134

地域×元氣!

地域おこし協力隊

新見の民謡を後世に

市内に残る民謡を調査、発掘してアーカイブ化し、広く認知してもらうとともに、後世へ継承していくことを目的に活動している造酒耕平隊員。

「アーカイブ化」とは、カセットテープなどのアナログの音源を長期間安全に管理、保存するためにデータ化することです。

4月1日に着任してから、旧町史や民俗資料を基に地域の民謡を調査研究するとともに、実際に歌い手や当時を知る人へのインタビューなどを通



民謡音源を専門業者に手渡す造酒隊員



イベントで三味線を弾く造酒隊員（左上）

して、市内に残る民謡の掘り起こしを行っています。

そして、活動開始から2カ月が経った6月。集まった64本のカセットテープやオープンリールテープを持ち、埼玉県の専門業者にデータ化を依頼してきました。

データ化には数カ月かかるとのことですが、当時の情景が色濃く残る民謡が、データという形で帰ってくることが、今からとても楽しみです。

「民謡は曲調が一緒でも、地域によって歌詞が違うなど、その土地の暮らしぶりを色濃く反映している。地域の歴史として、後世に伝えていきたい」と造酒隊員。地域に残る民謡をご存じの人は、ぜひ情報をお待ちしています。

【問い合わせ先】 移住・定住推進課 ☎6114

地域×元氣!

地域おこし協力隊

退任のごあいさつ

私、みづもとまさひろ 舩本将寛は、8月末で地域おこし協力隊を退任しました。

令和2年9月に着任してから3年間にわたり、応援してくださった地域の方々やお店に来ていただいたお客様をはじめ、メディアや市役所の皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。

私の活動は「食をテーマに地域を活性化すること」を目標とし、イベントの企画運営や料理教室、新たな特産品の開発と商品化、週末にはイタリア料理店を経営し、新見市の特産品のPRや観光客の誘致に力を入れました。



イタリア料理店
トラットリアアルカ

3年間たくさんの地域の方々と交流させていただきましたが、活動を温かく見守ってくださる方ばかりで、新見市の協力隊を選んで本当に良



かったと思います。

活動を始めたころは、初めて住む地域でのレストラン経営で大変なことが多く、何度も心が折れそうになりましたが、お店に来ていただいた方の「おいしかったよ」の声にいつも励まされ3年間続けることができました。

協力隊の任期は終わりますが、今後も新見市に残り、イタリア料理店の経営などこれまで通りの活動を続けていきます。

今後とも変わらず温かく見守っていただければ幸いです。

トラットリアアルカ

新見851

☎080-3058-1992

【問い合わせ先】

移住・定住推進課 ☎⑦6114



トラットリアアルカ
インスタグラム

地域×元氣!

地域おこし協力隊

地域資源を生かした観光振興

地域に眠っている観光資源を掘り起こし、観光客や関係人口の増加に向けて活動をしている三浦隊員。4月に着任以降、市民と連携し、さまざまなイベントを実施しています。

7月には新見自然守り隊と連携し、「森の体験会」を実施しました。これは、植樹したヒノキの下の草刈りと木工、ジビエなどのBBQを組み合わせたイベントで、募集開始から2週間ほどで定員を上回る応募がありました。



森の体験会

当日は、県南を中心に約50人が参加し、普段できない体験に大満足の様子でした。

8月には地域運営組織「未来へつ



東京圏でPR活動を行う三浦隊員

なぐ千屋野の里」が主催する夏祭りに協力したほか、赤坂城跡を守る会とともに、ヒマワリと石窯ピザを楽しむイベントなどを開催しました。SNSでの広報もあってか、いずれのイベントにも市外から多くの参加者があり、大いに盛り上がりました。

三浦隊員の着任から半年。市民の「地域を盛り上げたい」という主体的な気持ちと三浦隊員が持つノウハウがマッチし、少しずつ地域資源を生かした観光の輪が広がりつつあると感じています。



三浦隊員
Instagram

【問い合わせ先】

移住・定住推進課 ☎726114

地域×元氣!

地域おこし協力隊

新見産木材を使用した ワークショップを開催しています!

新見産木材の良さを木工分野でPRするために、
石井英希隊員が地域おこし協力隊「林業男子」に
着任して1年半が経ちました。

石井隊員は新見産木材のPRを目的に、ティッ
シュボックスや時計などを作成するワークショッ
プを2カ月に1回程度開催しています。ワーク
ショップは少人数で行われ、石井隊員に丁寧に教
わることもでき、好評を得ています。

今後もモノ作りのワークショップを随時開催す
る予定ですので、ぜひご参加ください。



ワーク
ショップの様子



「巨大に一みん」の製作風景

また、過去のこのコーナー（令和5年7月号・
令和4年11月号など）でも紹介した、石井隊員
が製作している新見産ヒノキを使ったバイオリン
は、8割程度まで製作が進んでおり、完成後には
市内で演奏会を開き、地域の皆さんとの交流を図
りながら、新見産木材のPRをする予定です。バ
イオリンの製作のほかに、新見産木材を使用した
「巨大に一みん」などの製作にも取り組んでいます。

石井隊員の活動内容や今
後のワークショップの予定
は石井隊員のInstagram
をご確認ください。



石井隊員の
Instagram

【問い合わせ先】

林業振興課 ☎086134

地域×元気!

地域おこし協力隊

活動報告会を開催しました

協力隊の活動を多くの人に知ってもらうため、11月15日に地域おこし協力隊活動報告会を開催しました。

当日は、現役で活動する3人の報告を傍聴しに、約30人が来場しました。

林業男子として地元産材を生かした活動をしている石井英希いしひろき隊員は、ワークショップなどを通して市民との交流を図っていることや、着任時から作成しているバイオリンが8割完成しており、完成後は演奏会を開催したいことなどを報告しました。

民謡のアーカイブ化と音楽による地域活性化に取り組んでいる造酒耕平みきこうへい隊員は、文献やフィール

ドワークなどで得た知見を交えながら、新見の民謡の特徴などを説明しました。また、これまで70曲以上の民謡を集めたこと、今後はホームページを作成し、気軽に民謡に触れる機会を提供したいことなどを報告しました。

観光資源を生かした地域振興に取り組んでいる三浦美子みうらみこ隊員は、東京圏でのPR活動や住民団体と連携したイベントに取り組んだことなどを紹介し、“新見だからできる体験”を続けることが価値を生み出し、リピーターの獲得に繋がることなどを報告しました。

3人それぞれが特徴ある活動をしている新見市の協力隊。今後の活躍に乞うご期待です。



石井隊員



造酒隊員



三浦隊員

【問い合わせ先】

移住・定住推進課

☎76114

地域×元気!

地域おこし協力隊

いろいろな音楽に触れよう

新見市に残る民謡をアーカイブ化[※]し、後世へ継承していく活動をしている造酒耕平^{みきこうへい}隊員。

民謡の収集や関係者へのインタビューなどの活動と並行して、いろいろなジャンルの音楽に触れることのできるイベントを開催しています。その名も「新見音泉」^{にいみおんせん}。

これまで、哲西盆踊りや千屋牛追唄など新見市に伝わる民謡と世界最古の管楽器ディジュリドゥ、アボリジニ民謡を楽しめるイベントを開催したほか、世界的に活躍する演奏家を招いたジャズナイトを開催してきました。もちろん、造酒隊員もシンガーソングライター

「Sy lokk」^{サイロック}として出演し、会場を盛り上げました。

これからもいろいろなジャン



新見音泉「ジャズナイト」の様子



リバーサイドバーで演奏する造酒隊員

ルの音楽に触れることのできる“音”の交流会「新見音泉」を開催し、市民が気軽に音楽に触れることのできるまちにしたいと語る造酒隊員。市内のイベントにも出演していますので、機会があれば造酒隊員（Sy lokk）の世界観をぜひ体感してください。

また、引き続き地域に残る民謡の情報もお待ちしています。ご存じの人は、ぜひ情報提供をお願いします。

※アーカイブ化…カセットテープなどのアナログの音源を長期間安全に管理、保存するためにデータ化すること

【問い合わせ先】 移住・定住推進課 ☎086114

地域×元氣!

地域おこし協力隊

中学生と新見の魅力を発信

地域団体や市民などと連携し、地域の魅力発信や関係人口の増加に向けてさまざまな事業に取り組んでいる三浦隊員。現在は、哲西中学校3年生が取り組んでいる新見魅力発信プロジェクトに関わり、中学生とともに新見の魅力を発信しています。

このプロジェクトの一環で3月17日(日)まで、市内観光スポット6カ所を巡る「すたすたスタンプラリー」を実施しています。これは、生徒が作成したスタンプとオリジナルポスターを市内観光スポットに設置し、観光客や市民にスタンプラリーを楽しみながら、多くの場所を訪れてもらうことを目的としています。



新見美術館に設置されている
スタンプとポスター



スタンプとポスター設置のため
井倉洞を訪れた
生徒たち

スタンプやポスター設置の交渉も生徒自らが行ったとのこと。「生徒が哲西や新見を誇りに思う気持ちを創出し、体験の中で学校生活ではなかなか得られない知識やスキルを身に付けてほしい」と三浦隊員。

スタンプ6個を集めると特産品が当たる特典もあるということなので、ぜひこの機会に訪れてみてはいかがでしょうか。

インスタグラム



哲西中学校



三浦隊員

【問い合わせ先】 移住・定住推進課 ☎026114

地域×元気!

地域おこし協力隊

新見産ヒノキを用いたバイオリン が完成しました!

新見産木材の良さを木工分野でPRしている
石井英希いしいひでき隊員。

着任当初から製作していた、表面板に新見産ヒノキを使ったバイオリンが完成しました。表面板は音の振動を伝える大切な役割を担っており、音として新見産木材をアピールしたいという想いで

製作しました。今後は製作したバイオリンで、コンサートを開催する予定です。

また、新見産ヒノキの角材をはぎ合わせて、高さ60cmの「にーみん」の木彫りを製作しました。完成した作品は新見駅に展示しているので、ぜひご覧ください。



新見駅に展示している
にーみん



完成したバイオリンを持つ石井隊員

引き続き、新見産木材を用いた作品の製作やワークショップなどを通して、市民の皆さんと交流したいと語る石井隊員。

石井隊員の活動内容などは、石井隊員のインスタグラムでご確認ください。



インスタグラム

【問い合わせ先】 林業振興課 ☎76134